TEXIO

取扱説明書

リモートコントローラ

RT-63

株式会社 ニッケテクノシステム
NIKKE TECHNO SYSTEM CO.,LTD.

© PRINTED IN JAPAN B65-0124-00(N)

1. 概 要

RT-63 は、PWR 電源の OUTPUT の ON/OFF, OUTPUT PROTECT の ON/OFF および PRESET1,2,3 とVARIABLEの切り換えをリモート操作できるリモートコントローラです。また、本器を経由し、外部の接点信号やロジック信号でも外部コントロールすることができます。

2. 定 格

● 機 能
- OUTPUT ON/OFF:
  PWR 電源の出力 ON/OFF 切換え。
  (ON で赤色 LED 点灯)
- OUTPUT PROTECT ON/OFF:
  PWR 電源出力 ON 状態における
  出力設定スイッチ切換え時の出力遮断。
  (ON で赤色 LED 点灯)
- PRESET(1,2,3), VARIABLE の設定:
  出力条件の選択(ON で緑色 LED 点灯)
- LOCAL: PWR 電源をリモート状態よりローカル状態へ移行。

● 操作手段
- 本器パネル面よりの操作
  入力方法: キー入力
- 外部コントロール端子よりの操作
  入力方法: 端子間短絡(対信号 GND)
  短絡時間: 100ms min.
  オープン時電圧: DC5V±0.6V(対信号GND)
  プルアップ抵抗: 4.7KΩ(対信号 GND)

● 使用条件
使用温度・湿度範囲: 0～40℃、10～85%RH
動作温度・湿度範囲: 0～40℃、10～85%RH
保存温度・湿度範囲: -20～65℃、10～85%RH

● 入力電圧
DC4.4～5.6V (PWR 電源より供給)

● 寸法・重量
寸法:
幅 138mm×高 37mm×奥行 84mm
寸法(最大):
幅 138mm×高 41mm×奥行 96mm
重量: 約 480g

● 付属品: 取説 1 部

● 機器コントロール用コード最大長: 1.5m

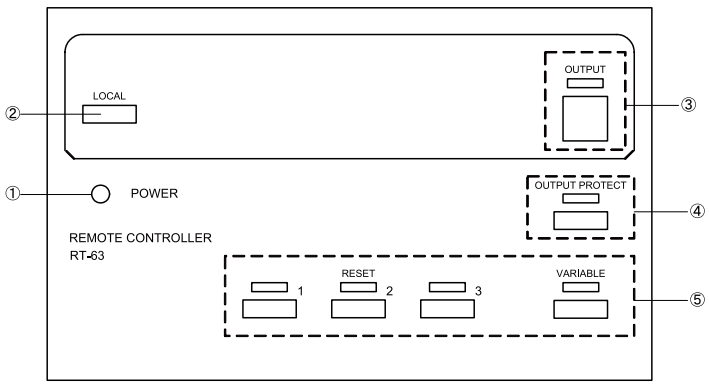
● コントロール可能機器数: 最大 4 台まで

3. 使用上のご注意

- 本器は、PWR 電源より電力の供給を得て動作します。外部より本器へ電力を与えたり、本器より外部へ電力を供給するような使い方はしないでください。
- 本器の外部コントロール端子を使用して操作を行う場合、端子へ外部から電圧を印加しないでください。
- 本器を PWR 電源と接続した場合、本器のフレームと PWR 電源の本器のフレーム GND は、同電位となります。
- 外部コントロール端子と本器および PWR 電源のフレーム GND は必ずフローティング状態でご使用ください。
- マスター機(RT-63)は、トークオンリー、スレーブ機は、リッスンオンリーとなるため、スレーブ機の PWR 電源は、同一機種どおしで構成してください。

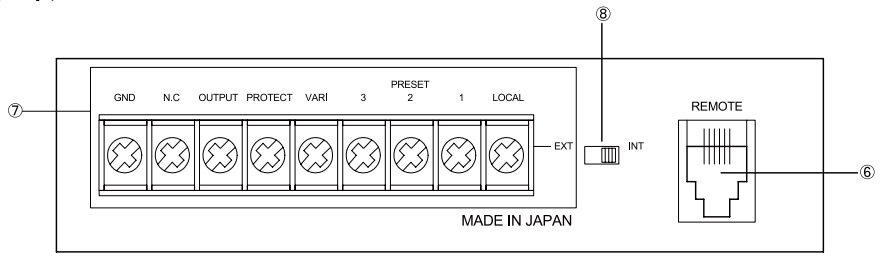
4. 各部の説明

パネル面



① POWER LED (赤)
② LOCAL・キー
③ OUTPUT・キー/OUTPUT LED (赤)
④ OUTPUT PROTECT・キー/
OUTPUT PROTECT・LED (赤)
⑤ PRESET (1,2,3), VARIABLE・キー/
PRESET (1,2,3), VARIABLE・LED (緑)

背面パネル



⑥ REMOTE コネクタ
本器より PWR 電源への各信号はこのコネクタより送られます。また PWR 電源より本器への電力の供給もこのコネクタより入力されます。

⑦ 外部コントロール端子
本器を外部の接点信号やロジック信号により、操作するときに使用します。

⑧ 操作方法切換えスイッチ
パネル入力と、外部コントロール端子入力を切り換えるえることができます。

5. 使用法

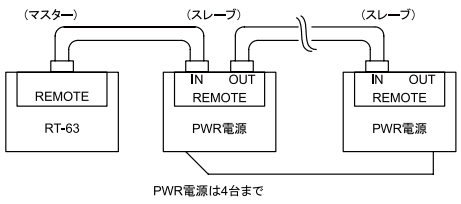
RT-63 と PWR 電源の接続および PWR 電源の設定

① PWR 電源のアドレス No.を設定。
全ての PWR 電源のアドレス No.を"0"以外に設定してください。

② PWR 電源の各条件を設定。
全ての PWR 電源を以下のように設定してください。以下のように設定されていないと使用上、支障を生じる場合があります。
- OUTPUT: OFF
- PUTPUT PROTECT: OFF
- PRESER(1,2,3), VARIABLE の設定を全て同一条件にする。

③ RT-63 と PWR 電源を接続する。
本器と PWR 電源の接続は、下図のように PWR 電源付属の接続コードを用いておこなってください。

本器とPWR電源を接続すると、本器にPWR電源より電力が供給され POWER LED が点灯し、その他の LED は消灯します。



パネルキーより PWR 電源をコントロールする。

① 操作方法切換えスイッチを"INT"側にする。

② LOCAL・キー以外のキーを押す。
パネルキーを押すと、押された LED が点灯します。PWR 電源は KEY LOCK LED が橙色に点灯し、ローカル状態よりリモート状態に切替わり、本器によりコントロールが可能になります。

③ PWR 電源をリモート状態よりローカル状態へ移行する。
全ての PWR 電源をローカル状態にする時は、本器の LOCAL・キーを押します。全ての PWR 電源の KEY LOCK LED が消灯し、本器の POWER LED 以外の LED も消灯します。各 PWR 電源を個別にローカル状態とする場合は、ローカル状態としたい PWR 電源の KEY LOCK・キーを押すとその機器の KEY LOCK LED が消灯して、ローカル状態となります。

ローカル状態になった PWR 電源は、自己のパネルより設定できます。

外部コントロール端子より PWR 電源をコントロールする。

① 操作方法切換えスイッチを"EXT"側にする

② 外部コントロール端子の任意の端子と GND 端子を短絡する。
任意の端子と GND 端子を短絡することによって、パネルキーを押して本器を操作した時と同じように、PWR 電源をコントロールできます。

③ 短絡方法
1. 接点信号でおこなう場合

左図に示すように本器の外部コントロール端子は、4.7KΩの抵抗を介して+5V に PULL UP されています。

2. ロジック信号でおこなう場合。

ロジック信号で GND 端子と任意の端子を短絡する場合は、左図のようにトランジスタ等を介してご使用ください。

GND 端子と任意の端子を短絡する時は、必ず他に短絡されている端子が無いことを確認の上、短絡をおこなってください。
他に短絡されている端子があると、動作しません。